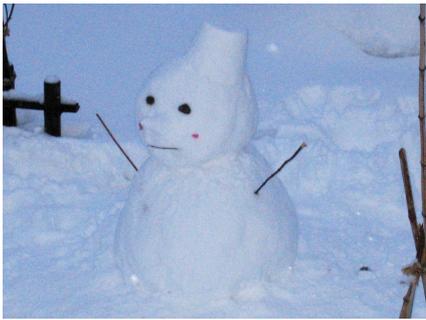


ほこす通信



身の周りの風景



妻の実家で雪遊び。40ウン歳になっても 雪遊びは楽しいのだ。 かまくら製作所要時間 約60分/4人

今年もよろしくお祈いします。

お正月に、妻の実家へ帰省をしてきました。実は、そこも農園と変わらないくらい田舎だったりする。雪深い所なので、毎年 結構な時間を 子供たちと雪遊びをしてすごします。

今年は 雪合戦のほかに、ちゃんとした？雪だるまと、かまくらを作ったのですが、次の朝には雪に埋もれていました。

しかしながら 冬とはいえ、我が農園のある所はほとんど雪など降りません。その分、この時期はキジの「ケーン、ケーン(実はキー、キーッとしか聞こえませんが・・・)」と鳴く声がにぎやかです。今年も猟師さんが来なくなる禁猟期まであともう少し。キジ夫婦よ、がんばれ。春はそこまで来ている。

今月の1ポイント蘭セミナー

「冬は水をやり過ぎないこと」

解説：蘭は冬の間、よほど温度の高い環境で管理しない限り、例え花が咲いていても 新芽が出る春までの間 休眠状態になる。 その間もやはり「乾くまで待ってから水をやる」のだが、現実には あまりたっぷり水を与えてしまうと、何日たってもなかなか乾かない。

蘭は新しい芽が伸びて、そこから根が下り始める時期が来るまでは、あまり水を要求しない。蘭を置いてある部屋の温度が低いときは水の量を少し減らそう。

本誌へのご意見などは 皿井洋蘭園 連絡先 〒479-0809 愛知県常滑市坂井字白萱61番地

ホームページ <http://www.sara-87.com/> メール sarara@sara-87.com 電話・FAX 0569-37-0629 までお寄せ下さい。

編集後記

この手紙を書く隣で、ボイラーのゴーツという音が止まらない。

この石油高騰の時代に涙の出る仕事である。でも来年の母

の日(今年ではない。)

に確実に花を咲かせ、皆さん

にお届けしようと思うと、一年半

前にこの秘密の作業をしなくて

はならないのだ。蘭栽培とは本当

に酔狂な仕事である。

(つづ)

当店への皆さんのご意見や、本誌への感想などをお寄せ下さい。